

実証概要

Demonstration overview

神河町 ひと・まち・みらい課

神河町らしいまちなみをそのままに。共感を軸にした空き家のマッチングを実現したい！

課題

- ・ 神河町中村・粟賀町歴史的景観形成地区で空き家の増加及び取り壊しにより、街並み景観が崩れつつある。
- ・ 空き家の利活用を通して、神河町中村・粟賀町歴史的景観形成地区の街並みを保全したい。

実証内容

- ・ 都心部と神河町内の古民家でトークイベント及びワークショップを開催し、地域で活躍するプレイヤー、不動産オーナー、関係人口候補との関係を構築。

採択企業

一般社団法人HITOTO



実績・成果

- ・ 空き家アセスメントの基礎データから関係人口候補ごとの活用可能性を数値化し、データ基盤を構築できた
- ・ イベント開催を通じて、空き家の利用希望が1件出た

解決したい課題



神河町中村・栗賀町地区は、兵庫県景観形成条例の歴史的景観形成地区です。

しかし、空き家の増加と取り壊しにより、景観が失われつつあります。



1

目的

空き家の活用を促進し、地域の街並みを保全します。

2

移住者トークイベント

2024年12月16日、起業プラザひょうごで開催。
神河町で事業を行う移住者3名登壇。

3

空き家内覧会・ワークショップ

2025年1月25日、まちあるき、空き家4軒の
内覧、活用方法の意見交換を実施



成果(KPI)

- ・ イベント満足度：目標70%
→実績84%（12/16）、
100%（1/25）
- ・ 神河町の推奨度：目標7
→実績7.6（12/16）、
7.9（1/25）
- ・ 空き家の暫定利用予定数：
目標1件以上→1件見込み

住民の声

「移住者の体験がリアルで、
移住のイメージが湧いた」

（セミナー参加者）

「内覧会を通じて、空き家活
用の現実的なアイデアが見え
てきた」

（ワークショップ参加者）

今後の展開

LP(ランディングページ)に物件を登録
空き家情報の集積を強化

他自治体にも横展開
LPの価値を向上させ、利用者増

ソフト事業としてマッチングを継続
空き家活用の実績を蓄積

ワークショップ参加者を巻き込み
イベントの場を創出し、関係人口を拡大